

仙台市海外展開チャレンジ支援メールマガジン

～仙台・東北から海外・タイ王国へ！～

発行：仙台市経済局産業振興課国際経済室

ウェブサイト

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/index.html>

目次

1. タイへのビジネス展開入門 4
2. タイトレンド通信 Vol.1 5
3. 他団体のセミナー・イベント等情報

◆タイへのビジネス展開入門 4

仙台ータイ経済交流サポートデスクの益雪です。

日本からタイに輸出するとき、気にしなければならないのがタイの輸入規制や許認可についてです。輸出するものによってケースバイケースとなりすべての説明ができませんが、今回は周辺国に比べるとタイへの輸入が難しいと言われる要素の 1 つである FDA（食品医薬品局）への申請を中心に説明します。FDA は、食品、医療機器や医薬品・化粧品などをタイに輸入する際に必要となります。

・食品について

食品については、まずは輸入の可否の確認が必要です。タイ国内への持ち込みが規制されているものがあるためです。検疫関連や自国産業の保護、法律で禁止されている添加物を含んでいるなど規制に該当するものは、そもそも輸入ができません。生鮮や魚介類などは規制品でなければタイへの輸出は比較的かんたんに出来ますが、加工食品に関しては、FDA からの認可取得が必要となります。FDA 申請の前にタイ側の輸入者登録（法人・個人）が必要であるため、日本から行うことができないので要注意です。品目によりますが、申請には GMP/HACCP/FSSC/ISO などが必要になるケースもあります。よって、商社や卸売会社など、タイ側のパートナーを選定することから始めるのが一般的です。

(JETRO 参考資料/タイにおける食品輸入規制及び手続等ガイドブック)

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2021/temp_08reports_02/thiland_foodgp.pdf

・医療機器や健康器具などについて

こちらでも FDA の認可が必要であることがあります。気をつけなければならないのが、日本では医療機器にあたらぬようなものでも、タイでは医療機器に認定される可能性があります。医療機器 FDA はクラス分類されており、クラス毎に申請の難易度が違います。こちらでも自社の拠点がタイにない場合は申請ができませんので、パートナーの選定を行い、予め FDA に問い合わせを掛けておく必要があります。また、製品によってはタイ工業規格 (TISI) への届け出が必要になるものもあります。

(JETRO 参考資料/タイにおける医療機器の輸入制度)

https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2022/8b5fbe81cd77af92/iryokiki_thai_202203.pdf

今回の記事を読んでも、何から始めればいいのか分からないかもしれませんが、ご自身のプロダクトをタイに輸入したいと思った場合は、まずはお気軽にデスクにお問い合わせください。各々のフェーズによって必要な専門家やパートナーの紹介などについてもサポートさせていただきます。

◇ タイトレンド通信 Vol.15

初めまして！タイデスクの Pia です。

今月から、タイの若者が SNS などでは話題にしているトピックを紹介します。皆さまのタイビジネスのヒントになると嬉しいです。

[6月のトピック]

・ガングバイ・カティヤワディというインド映画

実話をベースに制作された Netflix のインド映画。ガングバイのポーズを真似する若者が続出するくらい人気になりました。

・日本に旅行が待ち遠しい！！

コロナの緩和後に行きたい国ランキングで日本がトップに。現在は、ツアー旅行しか認められていませんが、個人旅行が解禁されれば、2年間我慢していた人々が多く日本を訪れそうですね。

・SPY x FAMILY という日本アニメ

日本アニメ SPY x FAMILY は、可愛くて、面白いとタイの若者に大人気。このアニメの主人公のコスプレをして SNS に投稿するタイ人も多くみられます。

・韓国俳優 パク・ボゴム が来タイ！

バンコクの Icon Siam で行われたファッションイベントに出演するために来タイ。大勢のファンが空港まで迎えに行きました。6月初めのタイ Twitter でトップトレンドを独占しました。

- ・タイ宝くじ公社の政府宝くじのオンライン販売を開始。

タイ国民の最大の関心事である政府宝くじがオンラインで買えるようになりました。販売予定数が5日間で売り切れてしまいました。

- ・カフェ・焼肉のコンボ店が流行

昼にカフェとして営業し、夜には焼肉屋として営業するスタイルの店が増加中。コロナ規制で焼肉が食べられる機会が減っていたこともあり、最近はその反動で大勢の人が焼肉を食べにいらしているようです。

- ・美容整形外科のトレンド

タイでは美容整形が人気ですが、最近その中で最も人気があるのは唇フィラーです。厚めの唇が人気なのは、世界的タイ人アイドルである Black PINK のリサの影響もありそうです。

- ・コロナ規制の緩和/バーやパブが再開

バー・パブの営業規制が解除されました。我慢していた多くの若者たちが夜の街に繰り出して楽しんでいます。

■-----■

◇ 仙台市では、海外販路開拓にチャレンジする皆さまを応援します！

■-----■

●仙台-タイ経済交流サポートデスク

コロナの影響でタイに渡航することが難しくタイについての情報収集ができずにお困りではありませんか？

仙台-タイ経済交流サポートデスクでは、タイ進出をご検討している皆様だけでなく、まだ進出までは考えられないが話だけ聞いてみたい、タイについて聞きたいことがあるなどタイに関する皆さまのご要望にお応えします。

タイについて知りたいことがあれば是非お気軽にご利用ください。

“仙台市の海外展開”の取組みをご活用いただき、多くの企業様がタイ進出にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

詳しくは、以下をご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/support.html>

●仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

仙台市では「仙台市輸出入チャレンジ支援助成金」を実施しています。

今回も海外展示会出展やサンプルの輸出入、E コマースサイト出展など海外展開に幅広くご活用いただける内容になっています。

また、オンラインの商談会で使いやすいよう PR 動画作成費、オンラインでの通訳費の助成などにもお使いいただけますのでご活用ください。

詳しくは以下のリンクをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.html>

■-----■
【ご案内】海外バイヤー来日！三陸・常磐水産加工品 ステップ型輸出商談会

▼三陸・常磐6県（青森・岩手・宮城・福島・茨城・千葉）の水産業の本格的な復興のため水産加工品の輸出促進に向けた海外バイヤーとの商談会。

（参加予定バイヤー：台湾、香港、タイ、フィリピン、マレーシア、UAE など）

申込期間：2022年6月14日（火）から7月15日（金）

詳細と申込先：<https://www.lapita.jp/jfa/fishery-products/top/>

◇ジェトロ主催セミナー/商談会/イベント情報

■-----■
【オンラインセミナーおよび商談会のご案内】

米国向け水産品・水産加工品の販売拡大事業

宮城、青森、愛媛の水産品・水産加工品の対米向け輸出拡大と普及・定着に向けた基盤づくりを目的に、オンラインセミナーおよび商談会事業を実施。

商談会についてはFDA登録済みの事業者が限定となりますが、

オンラインセミナーについてはどなたでも視聴が可能。

1. 【水産品・水産加工品 米国西岸部市場ミニセミナー】

日時：2022年7月26日（火曜）9時10分～9時50分

会場：オンライン（Zoom ウェビナー）

内容（予定）：

- ・米国の現状（物価上昇、物流混乱の現状とその背景）
- ・競合諸外国の取り組み状況（EU、韓国など米国での水産物の現状）
- ・ホワイトテーブルレストランの現状（価格状況、トレンド）
- ・ECの現状（B to B、B to C それぞれの状況と進出課題）
- ・米国現場から見える今後の課題

■定員：オンライン参加50名

■参加料：無料

■詳細・お申込 URL ※7月22日（金）23:59 締切

<https://www.jetro.go.jp/events/ehi/2529060df2fd01f9.html>

2. 【オンライン商談会】

現地コーディネーターが、米国（西海岸）の非日系を中心としたレストラン、ECバイヤー、ディストリビューターとのマッチングを行います。
より良い商談につながるよう、事前相談会も行います。

①7月26日（火）

現地コーディネーターよりオンラインセミナー＆商談準備勉強会

※上記1. のミニセミナーの後、宮城、青森、愛媛事業者の取り扱い品目に特化した商品開発アドバイス（現地ニーズやレストランで好まれるサイズなど）を実施。
勉強会は商談会参加予定の事業者様限定。

②7月27日（水）～29日（金）午前中

現地コーディネーターとの個別相談。

自社商品に関する具体的な相談を行うことができます。

③8月3日（水）

商談会申し込み締め切り。

御社の商品情報をもとに現地コーディネーターが商談アレンジを行います。

④9月上旬

マッチング結果通知。バイヤーよりサンプル希望があった場合には、サンプル送付。

国内指定倉庫から商談先へはジェトロが輸送代行いたします。

⑤10月4日（火）～14日（金）

オンライン商談会。全ての商談に現地コーディネーターが同席します。

お申込み方法：

下記案内書をご確認のうえ、まずはセミナー・勉強会へのお申込みをお願いします。

商談会参加事業者様に限り、録画をお渡しすることも可能です。

<https://intra.jetro.go.jp/dav/newsletter/sen/2022/jigyoannai.pdf>

【CES 2023】J-Startup/JAPAN パビリオン

世界最大規模のテックトレードショー「CES」において、スタートアップが集結する Eureka Park エリアに J-Startup パビリオンを設置し、同展示会での出展機会、メディア向け PR 機会の提供、イベント出展機会の提供等を通じ、日本スタートアップのグローバル展開を支援。

■日時：2023年1月5日（木曜）～8日（日）の4日間

■場所：米国・ラスベガス

■出展エリア：Sands Expo 1F Eureka Park

▼募集 HP：<https://www.jetro.go.jp/events/iib/f7a1bb56b1cd2802.html>

▼募集案内・エントリー要項：

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/iib/2022/CES2023.pdf>

■募集〆切：2022年7月15日（金曜）23時59分 JST

◆中小機構東北本部 「料理王国 100 選 2023」

▼1994 年創刊以来一貫して文化としての「食」を見つめ、伝える情報誌「料理王国」。その料理王国が誌面で紹介してきたアイテムに加え、一流シェフやバイヤーなど食のプロたちの厳しい目と舌で選ばれた注目すべき食の逸品 100 アイテムをご紹介します。コンテンツ

詳細：https://www.smrj.go.jp/sme/new_business/product/favgos000001k3tq.html

2022 年版中小企業白書・小規模企業白書、ものづくり白書、通商白書 合同説明会
(東北経済産業局)

▼経済産業省が担当する白書のうち、「中小企業白書・小規模企業白書」（令和 4 年 4 月 26 日閣議決定）、「ものづくり白書」（令和 4 年 5 月 31 日閣議決定）、「通商白書」（令和 4 年 6 月 28 日閣議配布）の 3 つの白書の合同説明会を開催し、各白書の現在のトレンドや今後の方向性について御紹介するもの。

■日 時 : 2022 年 8 月 3 日 (水曜日) 13 時 30 分～16 時 40 分

■プログラム :

<第 1 部> 13 時 30 分～14 時 30 分 2022 年版通商白書について

<第 2 部> 14 時 40 分～15 時 50 分 2022 年版中小企業白書、小規模企業白書について

<第 3 部> 16 時 00 分～16 時 40 分 2022 年版ものづくり白書について

■開催方法 : オンライン (Microsoft Teams)

■対象者 : 東北管内の一般企業、地方公共団体、支援機関 等

■定 員 : 先着 100 名

■申込等詳細：https://www.tohoku.meti.go.jp/s_cyusyo/topics/220708.html

令和 4 年度当初予算「JAPAN ブランド育成支援等事業費補助金」の公募開始について
(東北経済産業局)

▼海外展開やそれを見据えた全国展開のために、新商品・サービスの開発・改良、ブランディングや、新規販路開拓等の取組を中小企業者等が行う場合に、その経費の一部を補助するもの。

【補助対象の経費】

謝金、旅費、借損料、通訳・翻訳費、資料購入費、通信運搬費、広報費、マーケティング調査費、産業財産権等取得等費、展示会等出展費、設計・デザイン費、委託・外注費など。

※詳細は公募要領をご確認ください。

【補助上限額】 1社あたり 200～500万円（複数者による共同申請の場合は上限 2,000万円）

【補助率】 1、2年目事業：2/3以内
3年目：1/2以内

【公募期間】 令和4年6月20日(月)～8月1日(月)17:00

【採択時期】 9月中旬（予定）

【公募要領等事業の詳細はこちら】

<https://www.tohoku.meti.go.jp/koho/koshin/kobo/2022/k220621002.html>

<本件のお問い合わせ先>

東北経済産業局 産業部 経営支援課 地域ブランド連携推進室

電話：022-221-4923

E-mail：thk-brand@meti.go.jp

■-----■
地域未来牽引企業向け海外展開ウェビナー見逃し配信（無料）のご案内
（日本商事仲裁協会）

■-----■
令和4年5月24日に開催された、日本国際紛争解決センター（IJDR）、法務省、経済産業省、日本商事仲裁協会（JCAA）共催「地域未来牽引企業向け海外展開ウェビナー」の録画版をYouTubeにて配信中。

以下 URL からのアクセス限定の公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=R2skj7-xSu4>

(視聴期限：令和4年8月末まで)

【第1部】中堅・中小企業の海外展開状況及び支援について

上田泰史（経済産業省貿易経済協力局貿易振興課 企画官）

【第2部】国際商事紛争への対応について

紛争解決及び国際取引をよりスムーズなものとしていただくため、国際取引における紛争リスクへの備えとして国際的にスタンダードとなっている国際仲裁の利用及び日本を仲裁地とすることのメリットをご説明いたします。

①国際商事仲裁のプラクティス

高取 芳宏（JIDRC 霞ヶ関国際法律事務所 弁護士・ニューヨーク州弁護士・英国仲裁人協会上級認定仲裁人・国際調停人）

②JCAA 仲裁を「活用」する～紛争リスクへ備えるために～

山川亜紀子（JCAA 広報担当 弁護士・ニューヨーク州弁護士、Vanguard Tokyo 法律事務所）

③国際仲裁の活性化に向けた政府の取組み

金崎哲平（法務省大臣官房国際課課付）

※このメールはこれまで仙台市産業振興課担当者から名刺交換させていただいた方や、仙台市のイベント等にご参加いただいた方にお送りしています。

配信停止を希望される方はお手数ですが、このメールのタイトルに（配信停止希望）と付記して返信いただければと思います。

バックナンバーはこちら

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/mailmag.htm>

【発行】仙台市経済局産業振興課国際経済室

tel：022-214-1005 fax：022-214-8321

email：kaigai-challenge@city.sendai.jp
